

群れをなす膨ら羊の息白し

西町 金澤 頼子

昭和史の少し遠のく根深汁

緑町 齋藤 嘉子

風の身を見舞う娘の文読みかえす

仲町 坂部 和子

過疎の里出で湯賑はふ冬日和

屯田町 古屋 克江

人日や土鍋くすぐる粥の音

藤本町 池田 良子

床の間の松の光の年の花

西原町 児玉久美子

初詣大吉確り結び付け

旭町 大河 茂

晩成のゆきつもどりつ年新た

仲町 玉野 研一

新しき神も舞ひ込む年賀状

南桜町 宮腰 幸子

夜汽車にて一族揃ふ大晦日

仲町 徳井 隆男

葉に枝にのっこり積る雪の山

西岡町 児玉 洋子

元旦や屠蘇の大盃母は干し

仲町 梅基 敬子

痛み終へて二人揃ひぬ草の粥

元町 杉山 義美

初日記無病息災願ひけり

屯田町 竹内スミエ

牛六頭かたまりて寝る大寒夜

旭町 宝沢 房子

束ぬるに足らぬ白髪冬帽子

屯田町 伊藤 タカ

囲いなき庭につき出る冬木かな

元町 杉山 繁良

孫たちの小さき手に受くお年玉

西岡町 渋谷ミサ子

穏やかにあれよと願ひ初飾り

旭町 大河内清枝

恥ずることなければ良しと年おくる

東町 高草木喜代子

初春や惚け寄せつけぬ初一念

元町 鹿野登美子

集中力とぼしくなりし年の暮れ

西町 岸波 君江

人生は生きることなり小正月

西町 小島アキ子

お年玉孫らの笑顔愛ほくし

西町 文梨 清子

大晦日腰を下ろして省みる

西岡町 高瀬久美子

穏やかに笑う日のあり冬紅葉

藤本町 高井 孝子

牛生れて酪農ヘルパー初涙

仲町 芳賀 星子



## information

### 絵本の館から



八郎

斎藤隆介(文)  
滝平二郎(画)  
福音館書店

秋田の優しい大男「八郎」が、泣いている男の子のために山を動かし、自分も犠牲になって百姓たちの田んぼを塩害から救ったという伝説のお話です。その舞台の八郎瀧は昔より小さくなってしまいましたが、どこかで八郎が見守っているのでしょうか。



### 今月のおすすめ絵本

#### 新着図書

- ・へんな国会 のり・たまみ著
  - ・悪いのはわたしじゃない症候群 香山リカ著
  - ・体脂肪計タニタの社員食堂 続タニタ著
- ほか



カラクリ江戸あんない

太田大輔(文・絵)  
福音館書店

おじいちゃんの発明したカラクリ機械をのぞくと、そこは昔々の江戸の町並み。今の東京に負けないくらいの活気ある江戸の人々の暮らしが、木版画で描かれています。昔はとても川を大切にしていたのですね。